



大村市長  
松本 崇

## 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございませう。皆さまには清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから市政に対し温かいご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

本年は市制施行67周年を迎えますが、これまで、大変厳しい行財政の中において、行政改革・財政健全化に努めてまいりました。その結果、赤字が続いていた競艇事業も黒字を達成することができ、20年度は7年ぶりに一般会計への繰り入れを再開することができました。今後は、ナイターレース導入も視野に入れながら、経営安定化に努めてまいります。

市立病院については、昨年4月、公設民営化を行い「市立大村市民病院」として、新たにスタートをいたしました。市内の開業医および国立長崎医療センターを結ぶ中核的医療機関としての機能を發揮し、

皆さまに慕われ信頼される病院を目指してまいります。

また、待望久しかった九州新幹線西九州ルートは昨年4月に起工式が行われ、11月には大村鉄道建設所が設置されました。いよいよ建設工事が始まりますが、新幹線開通は市の経済発展の大きな原動力になるものと確信しており、今後、新幹線を活かしたまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

待ち望んでおりました大学誘致については、活水女子大学看護学部が、国立長崎医療センター内にキャンパスを新設、本年4月に開校されることとなりました。市にとって大変喜ばしいことであり、今後も教育環境の充実に努めてまいります。

このほか、福祉・医療の充実をはじめ、企業誘致による雇用の確保、市街地再開発などによる商店街の活性化、また3月には大村純忠・天正遣欧少年使節をテーマとした「天正少年夢まつり」を開催いたしますが、歴史を活かした歴史観光の開発などに、引き続き積極的に取り組んでまいります。

「花と歴史と技術のまち おおむら」、本年も、変わらぬご指導とご支援を賜りますよう心からお願ひ申し上げますとともに、今年が皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成21年元旦

大村市長 松本 崇

## 新年を迎えて



大村市議会議長  
里脇 清隆

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆さまには清々しく新春をお迎えることと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろから市政に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

昨年は、議長就任2年目を迎え、市民の皆さまの声を的確に市政に反映させるため、さまざまな議会改革に取り組んでまいりました。

まず、5月と11月には、市民の皆さまへ議会情報を積極的に発信するとともに、市政についての多くの市民の皆さまの声を聴き、今後の議会活動の参考とするため、「市民と議会のつどい」を開催いたしました。また、12月議会では、議会や議員の役割と活動の指針を明確にするとともに、市民の皆さまに開かれた議会を

推進するため、「議会基本条例」を制定いたしました。

今後も、議会改革を引き続き実施し、議会の更なる活性化と機能強化を図り、市民の皆さまのご期待に応えることができますよう、より一層努力していく所存であります。

どうか、本年も市議会に対し、多くのご意見・ご要望等をお寄せいただけますとともに、より一層のお力添えを賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

市民の皆さまにとって今年一年が実り多い年でありますよう心からお祈り申しあげ、新年のごあいさついたします。

平成21年元旦

大村市議会議長 里脇清隆